

かすみ 檜木野霞氏に文化財功労者表彰

平成21年度熊本県文化財保護大会が11月6日、多良木町で開催され、今年度の熊本県文化財功労者表彰式が行われました。阿蘇市からは波野の中江岩戸神楽保存会前会長の檜木野霞氏が表彰を受けました。

この賞は、県内の文化財の保護・活用に顕著な功績があった個人・団体を表彰するもので、今年は檜木野霞氏のほか県内の個人4名と1団体が受賞しました。

檜木野氏は、少年期から地元に伝わる中江岩戸神楽の伝承に携わり、昭和52年から平成20年までの31年間、保存会会長として伝承活動を主導されてきました。平成2年には、熊本県立劇場にて中江岩戸神楽三十三座の完全復元公演を達成。今回の表彰は、永年にわたる伝統芸能の継承と振興活動への尽力が評価されたものです。



▲表彰を受けた檜木野霞氏(右)と
現・中江岩戸神楽保存会会長の佐藤義勝氏(左)

坂梨地区、公民館活動55周年



▲館長挨拶の中で、昭和29年、坂梨分館建設陳情の熱意に当時の文部大臣大達茂雄氏が落成を記念し贈られた「和魂洋才」と書かれた直筆の書の紹介もありました。

阿蘇市公民館坂梨分館55周年と、生涯学習講座切り絵教室20周年を記念した行事が11月15日に開催されました。坂梨分館は、昭和29年に完成。その後歴代の館長のもと、人づくり、地域づくり、環境整備など様々な公民館活動が継続して進められてきました。平成18年には、これまでの功績が認められ、分館長の中川竹久氏(5代目現分館長)が、全国表彰を受賞。翌年、坂梨分館が熊本県表彰を受賞しています。

記念行事では、来賓挨拶の後、切り絵講師の今村英輔氏が切り絵のすばらしさを、また中川分館長がわんばんく相撲と宿場の力士たちについて講演した他、会場には55年間の活動の写真と切り絵の作品が展示されました。

柔道で九州大会出場！嶋田さん



▲嶋田菜緒子さん

11月末、熊本武道館で開催された平成21年度九州中学生柔道対県練成会に、阿蘇北中2年の嶋田菜緒子さんが出場しました。また12月末、熊本県強化選手として、嶋田さん他、一の宮中学2年の児玉美恵子さん、同1年の古木麗王くんが県強化合宿に参加します。3人の県代表選手の活躍が期待されます。

日本拳法・西日本大会でベスト4！ 阿蘇清峰高校

阿蘇清峰高校日本拳法部が、11月3日、奈良県で開催された第14回西日本高等学校日本拳法選手権大会で、団体戦でベスト4に入る健闘をみせました。同校のベスト4入りは4年ぶりです。大会は各県の代表200人が参加し行われ、県の代表校として常連の阿蘇清峰高校の選手は今回も入賞を果たしました。

また、11月21日行われた県新人戦でも見事、団体戦で優勝を決めています。

【選手名】 永富拓真(2年)、比嘉翔(2年)、河津健太(2年)、宮本龍(2年)、村上公平(1年)、岩永雄汰(1年)